

社会福祉法人 十字の園

# ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行：(福) 十字の園本部事務局  
理事長 平井 章

住所：〒431-1304  
静岡県引佐郡細江町中川 7220-11  
tel 053-439-9100  
fax 053-437-1352



## ◆ 夕暮れになっても光がある ◆

松崎十字の園 三條 洋二



法人は、夕暮れになっても光があるという理念を「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。」とわかりやすく表現してくださいました。松崎十字の園では、それに対して具体的な働きとして次のように実行していこうと考えています。

「人格を尊重する」とは、相手の存在を認めることです。そのためには、簡単な事ですがその利用者を認めた挨拶をする事。「生きる希望」とは、生活の中に役割があることではないでしょうか。些細な事でもよいので利用者に役割を持ってもらえるようにする事。「生きる自由」とは、自らで一日の日課を創りだせる方は生きる自由があるでしょう。しかしできない方にとっては何をしてもよいといわれるほど、つらいものではありません。ご自分で判断できない方には、選べるような声かけをする事。「生きる希望」とは、その人なりの過去をきちんと認識をしてその人にあった未来を考え、安心した死を迎えることが出来るようにする事。「創ります」とは、先人たちは、制度も法律もないところから十字の園を創りました。高齢者と障害者、健常者の壁をなくすことができるように、また施設入居者とデイサービスの利用者、地域の方々との新しい関係創りが出来るように働きかける事。この事を実践する施設を目指したいと思っています。





## 『創立の心と定款目的と 十字の園理念』

理事長 平井 章

今年度の新職員辞令交付式には、創立 25 周年記念講演から編集発行した「十字の園老人ホームが出来るまで」(1987 年 5 月西村ミサ記)を配布しました。本のあとがきに綿鍋義典氏は「いま十字の園は創立 27 周年を迎える。はじめ僅か 30 床で開設された施設もいまは 120 床。御殿場十字の園、伊豆高原十字の園を併せれば 285 床、職員の数も 130 名にもなっている。また、全国の特養は 1700 箇所にもものぼり、長寿社会、豊かな社会になったのだという。そんな中であればこそ、私たちは繰り返し創立の原点に立ち戻ることが極めて大切であると思う。」と記しています。

また、当時の聖隷福祉事業団の理事長であった長谷川力氏は、読後の感想として「この記録の中には、聖隷の事業の基本理念・基本姿勢が多く盛られています。事業は、特にわが国の国民性と精神的土壌において、大きく発展すればするほど、キリスト教の精神ヒューマニズムによる純粋性を深めることは困難であり、人間愛において一致できる多くの職員と共に協同の事業体となっていきます。」と記されています。

この本が発行されてから 15 年が経過し、十字の園の施設はアドナイ館、御殿場アドナイ館、今年 4 月には松崎十字の園が加わり、制度も老人福祉法から介護保険法になりました。事業の拡大、職員数の増大、多様化する福祉への期待に心を奪われ福祉事業の競争意識に惑わされそうになってしまいます。

いまが大切な時です。この本を読んだ新職員から「自分が働いている施設が、人を思いやる心からできたということ、長い歴史があることを知ることができてよかったと思います。今までの歴史、原点を知らなければ、現在の意味も薄くなってしまふのだと改めて思いました。」「40 年以上も前の理念を守り続けながら、ユニット・ケアの様に新しい事にも取り組んでいく姿

勢は素晴らしいことだと思いました。」との感想がありました。

社会福祉法人の理事会の重要な役割は、法人の進む方向を提示すること(事業計画と予算の承認)と、その道をしっかり歩んでいるかを確認すること(事業報告と決算の承認)にあると思っています。そして、十字の園の理事長は、「十字の旗掲げて諸共に進めや」と讚美歌 383 番の声を上げ、旗印をはっきりと示す役割を与えられていると思います。

2002 年度の事業計画に『ハニ・ウォルフ姉妹が、最初の十字の園建設に際して神に献げた「主イエス・キリストよ、あなたの御命令でこの家を建てますから、あなたがこの家の基礎とってください。』の祈りの言葉が法人の立つところです。』と記しました。「創立の心」と「定款の目的」と「十字の園の理念」が十字の旗印です。

創立の心は「伝道と奉仕」の団体十字の園であり、キリストによる救いの「喜び」を知らせる伝道と、ディアコニッセ運動の「奉仕」を知ることです。社会福祉法人の定款は、準則に沿って作成することになっていますので、全国どこの法人も同じ内容・目的が記されています。しかし、十字の園の定款には「キリスト教の精神に立って」の字句が挿入されています。十字の園は、他の法人と同じ目的の達成を「キリスト教の精神」に立って進めるのです。そのためには、聖書のみ言葉に日々聴く機会を作ることが大切です。十字の園の理念は「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」です。

御殿場の全面改築から始まった施設整備事業(ハードの充実)は松崎の完成で一段落しました。これからは、法人全体のソフトの充実に目を向けていきます。「十字の旗掲げて、諸共に」進みましょう。



# 連携と協力を

現象

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

理事長 山本 敏博



聖隷福祉事業団本部が三方原に移転したのと同時期に、聖隷の高齢者福祉の原点である十字の園の理事に任命され、一年と少しが過ぎました。日本最初の特別養護老人ホームの始めからそれがどのように成長してきたのか、歴史との関わり方はどのようであったのか研究中にはありますが勉強になっています。社会福祉を取り巻く環境、考え方は大きな転換期を迎えています。行政の管轄下にあった措置制度の時代には、利用者は、私たちの福祉サービスに対して質、量共に低いレベルであっても不平は言えなかった時代です。ゴールドプラン21が推進され、介護保険制度の発足した現在、提供されるサービスは質、量共に充実してきました。福祉分野における民間参入も容易になり、自己負担も増加、価値観の多様化等により、利用者の要求レベルは年々、高くなっています。それ故に利用者の満足の視点に立ったハード面、ソフト面での充実が求められる時代でもあります。

真に私たちは利用される個人の人格と尊厳を大切に考え仕事をしているのだろうか、常に振り返りを必要としています。この点において同じ聖隷という集団に存在し、隣接するメリットを十分に生かし、お互いの長所を学びあう機会、交換研修も行いたいと思っています。今回、わかば保育園の移転改築に伴い、お互いにハード面における充実を図れる機会を得ました。地域の利用者喜んでいただけるサービスを共に創っていく共同体として連携、協力していきたいと思っています。

NHKアーカイブス（4月21日再放送）

「新日本紀行～今も心に生きる土地 第2集 新しき村～」を見て

## 〈十字の園には神様がいらっしゃる〉

浜松十字の園 尾崎 国子

昭和50年十字の園に就職した私は、半年位してひとりの老婦人の臨終に出会いました。松尾さわさんという聖隷保養園で長く婦長をされていた方です。松尾さんはその前年、NHKの新日本紀行で紹介された事があり、たまたまその番組を見ていた私は、松尾さんにとっても親しみを覚えたのでした。凜として、又厳しさも備えた方でした。

亡くなられる数日前、「病院に行きましようか」と言う職員に対して松尾さんは「十字の園に居たい。十字の園には神様がいらっしゃるから」と言われたのです。この言葉は、今はなき西村先生司式の告別式の中でも紹介されました。「十字の園に居たい。十字の園には神様がいらっしゃるから」、これはその頃の私には大きな衝撃であり感動でした。私はまだ新人の時代です。先輩の職員達の働きの中で、松尾さんをしてその言葉を言わしめたのだと思いました。あれから26年が過ぎ去りました。

そしてつい先日、松尾さんの番組が、再放映されたのです。改築前の十字の園のきく棟、うめ棟が写し出され、そして懐かしい松尾さんの姿がありました。今の十字の園に松尾さんが居られたら何とおっしゃるだろうかと時々ふと思います。時代が変わり制度も変わりました。しかし、どんな時でも変わることのない「神様がいらっしゃる十字の園」でありたい、又利用者にとって安心して身を任せられる十字の園でありたいと願うものです。

## 松尾サワさんのこと

(S51. 1. 25 召天)

～亡くなられた時のチャートより～

綿鍋 義典 (当時の園長であり  
2代目理事長)

松尾サワさんは、長く聖隷病院で貧しい結核患者達のために献身的に働かれ、その生涯を捧げた人であり偉大な人格者であった。

ホームに入られてからは、実に良い在園者であり、他人の批判などは全くせず、むしろ、よく人をほめてくれた。

自分の死をとうから覚悟し、その最期も全く立派であった。

キリストの福音を信じ、この世の一切のものに執着をもたなかった。

ふだんはベッドに静臥しつつもよく読書し、文学少女(武者小路実篤の白樺派-新しき村の同人であった。) 振りを発揮し、思想的には、かなりラジカルな考え方をしていた。(アカハタの読者であった。)

身体はやせて小さく、体力が充分でないため、73才という年令で地上の生涯を終えられたことは誠に惜しいことであった。



松尾サワさん



平成13年度は、介護保険制度2年目になり、介護保険事業による経営及び運営への評価が出た年でした。決算については、本年度より新会計基準による指導指針会計方式が採用しています。

1. 役員会 理事会6回、評議員会 3回開催
2. 監事監査 決算監査及び業務監査 2回実施
3. 運営会議 施設運営の推移と連携 6回開催
4. 法人研修会 法人大会及び職種毎に 2回開催
5. 施設運営 浜松、御殿場、伊豆高原の指定介護老人福祉施設並びにアドナイ館、御殿場アドナイ館のケアハウス事業が順調に運営できました。
6. 在宅事業 各施設では、地域のニーズに応えたサービスを提供、順調に運営できました。
7. 特別事業 伊豆松崎十字の園の新築工事が完了し4月より老人施設介護事業と小規模身障療護事業の各サービスを開始しました。

◆◇ 社会福祉法人会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	658,602	流動負債	64,068
現金預金	383,998	未払金	44,325
未収金	272,888	短期借入金	715
立替金	332	預り金	19,028
前払費用	669	固定負債	1,258,978
短期貸付金	715	設備資金借入金	941,648
固定資産	3,287,127	長期運営資金借入金	160,550
基本財産	3,175,850	長期預り金	139,136
土地	486,300	退職給与引当金	17,644
建物	2,689,550	負債の部合計	1,323,046
その他の固定資産	111,277	純資産の部	
建物	3,151	基本金	816,673
構築物	4,109	国庫補助金等特別積立金	1,709,388
車輜運搬具	15,603	次期繰越活動差額	96,622
器具及び備品	68,520	(うち当期活動収支差額)	(138,081)
権	2,250	純財産合計	2,622,683
その他	17,644	計	3,945,729
計	3,945,729	計	3,945,729

脚注、減価償却費の累計額 1,501,571,072円

事業活動収支計算書 (単位：千円)

科目	決算額
介護保険収入	1,847,181
国庫補助金等特別積立金取崩額	104,322
事業活動収入計	1,951,503
人件費支出	1,169,422
経費	491,105
(直接介護費)	279,595
(一般管理支出)	211,510
減価償却費	171,403
引当金繰入	3,132
事業活動支出計	1,835,062
借入金利息補助金収入	7,117
受取利息配当金収入	78
寄附金収入	21,356
雑収入	17,246
事業活動外収入計	45,797
借入金利息支出	19,248
雑損	900
事業活動外支出計	20,148
施設整備等補助金収入	37,773
固定資産受贈額	2,296
他会計区分繰入金収入	116,095
会計区分外繰入金収入	37,800
特別収入計	193,964
国庫補助金等特別積立金積立額	23,521
他会計区分繰入金支出	116,095
会計区分外繰入金支出	55,056
その他の特別損出	19,301
特別支出計	213,973
当期活動収支差額	122,081
前期繰越活動収支差額	△ 41,459
他の積立金取崩額	16,000
次期繰越活動収支差額	96,622

◆◇ 公益事業会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	21,209	流動負債	1,077
現金預金	14,208	未払金	1,077
未収金	5,999	引当金	1,208
薬品	604	純資産の部	
立替金	398	基本金	5,252
固定資産	3,444	次期繰越活動差額	17,116
器具及び備品	2,763	(うち当期活動収支差額)	(2,321)
その他の固定資産	681	純財産合計	22,368
計	24,653	計	24,653

公益事業活動収支計算書 (単位：千円)

科目	決算額
診療収入	51,713
診療外収入	2,032
雑収入	4,818
収入合計	58,563
事務費支出	9,706
診療支出	8,736
繰入金支出	37,800
支出合計	56,242
当期活動収支差額	2,321
前期活動収支差額	14,795
次期活動収支差額	17,116

本年度の事業を振り返ると経営面では、前年度より全体的に改善が図られました。居宅サービス事業では、通所介護(デイサービス)事業の定員の増、他の事業でも実績増に務めることにより事業活動収支の改善が図られました。施設サービス事業では、短期入所生活の空所ベッドの活用や、浜松十字の園では標準夜勤体制の確立、御殿場十字の園では常勤医師体制の確立、伊豆高原十字の園では管理栄養士の配置等による減算になっていた項目の改善が図られました。

運営面では、法人及び施設の理念に基づく運営に向けて、施設の質、職員の質、サービスの質の向上を、それぞれの施設で取り組んでまいりました。また、前年度からの2ヵ年事業として実施してきた松崎十字の園施設整備事業が無事竣工を迎え、職員の異動、採用による体制を整え4月1日開設することができた事など、ハード及びソフト面でより充実した事業体制を整えることが出来ました。



# 各施設からの事業報告

## 浜松十字の園

施設長 平井 章

「より良い施設を目指して」と前年度から取り組んできたことが実を結び始めた年度でした。確実に利用者の笑顔が増え、施設内の雰囲気明るくなりました。具体的には、5月より夜勤体制の変更と職員体制を強化してユニット・ケアの充実に向けた運営を行いました。施設全体に落ち着いた雰囲気とユニット毎の工夫がなされてきたと思います。ユニット毎に生活環境の改善工夫が図られ、利用者へ個別の居場所が確保されてきています。

施設の質とサービスの質向上のために、プロジェクト・チームを組んでの実践を行い、そのうち、身体拘束0作戦では、十字の園基準の達成ができました。前年度作成した「施設サービス基準指針」を職員が身につけるための施設内研修にも取り組みました。居宅では、「居宅サービス基準指針」が作成され、それに基づくサービス提供が始まっています。

まだまだ課題はありますが、よりよい施設作りに向かって一歩一歩前進しています。

## 伊豆高原十字の園

施設長 青木 克文

施設部門においては、レクリエーションとして松崎十字の園までドライブを行うなどで入居者とのコミュニケーションを図り、常に入居者の方の処遇について考える意識を持つようになりました。また、ショートステイでいらした方にも快適に過ごしていただくように、いろいろな要望に対しての意見を聞くように努めました。

訪問介護事業では、ヘルパーの定期的な勉強会を行ない介護技術を向上させ、利用者の疑問や相談に適切な助言ができたと思負っています。

通所介護事業（デイ）では、利用者の気持ちを尊重しつつ、本人の主体性や自立・積極性などが充分に出せるように雰囲気作りに気をつけました。その結果、利用者相互の気遣いや励まし等が生まれ、良い雰囲気でも過ごして頂くことができたと思います。

最後になりましたが、居宅介護支援事業は、利用者との関わりより、家族との関わりが多く、その所で課題を残しましたが、それを次の年へのステップとしてがんばっていきます。



今年の ▶  
松崎桜

◀つじ狩り  
こむろ  
小室山

## 御殿場十字の園

施設長 上野 貢一

老人介護福祉施設では、ユニットケアの充実に取り組む、6ユニットごとの生活が定着して来ました。中には利用者が炊飯し、皆で夕食を食べるユニットも現れました。在宅関係では、通所介護の一般型定員5名増やし30名、痴呆型定員1名増やし10名にしました。身障デイサービスは、土曜日開業や時間延長を行いました。又、デイサービス利用者対象にお持ち帰り弁当を始めました。居宅介護支援事業では、介護支援専門委員を4名体制にしました。ケアハウスでは、親睦会や気楽会を行い、互いの交流を深めました。診療所では、4月に皮膚科を開設しました。全体の取り組みとして苦情解決委員会、身体拘束廃止推進委員会を毎月開催しました。

## アドナイ館

施設長 宮岸 孝一

開設9年目を向かえ、設備の老朽化と入居者の加齢等による心身の低下が目立ち始めている中、ケアハウスでの自立生活の継続を目指し、次の様なサービスを実施しました。

- 介護保険サービスで補う事が出来ない内容について、独自のケアシステムで支援できる体制づくりと内容の見直しをしました。
- 浴槽出入口に手摺りを取り付け、避難用外階段に夜間照明、階段標示を整備しました。
- 廊下の雨漏り対策のため、北壁全面の防水補修工事を実施しました。
- 待機者対策のため、夫婦部屋の個室化を検討しました。
- 入所者処遇特別加算の申請補助を頂き、介助員1名を増員しました。
- 送迎職員として運転手を専用に1名雇用し、月1回のショッピングも実施しました。
- 朝食をバイキング方式に改善し、コーヒー・紅茶を提供できるようになりました。
- デイサービス利用者用として、貴重品用小ロッカーを設置しました。



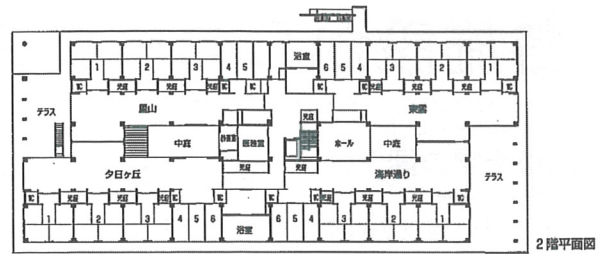


# 法人 5 番目の施設

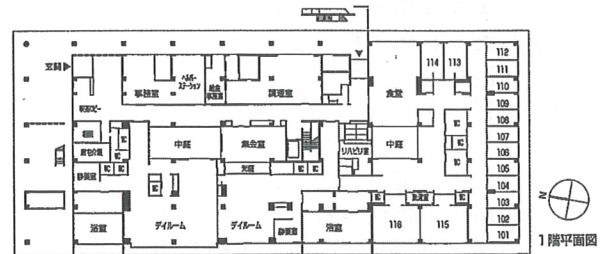
## 松崎十字の園が開園しました！

平成 13 年 1 月 24 日に起工式を行ってから 1 年 2 ヶ月、平成 14 年 4 月 1 日に社会福祉法人十字の園 5 番目の施設「松崎十字の園」が開園しました。

「松崎十字の園」の大きな特徴は、静岡県内では初めての高齢者と身体障害者の複合施設であることです。1 階身障者生活スペースに高齢者の方が散歩に出掛けたり、1 階に住まわれている方が 2 階高齢者生活スペースへ遊びに出掛けたりと複合施設ならではの交わりが日々繰り広げられています。



特別養護老人ホーム「松崎十字の園」



特別サービスセンター「松崎十字の園」 小規模身障サービスセンター「空とぶうさぎ」 小規模身障複合施設「オリブ」

平面図



ドライブに備えて  
～おにぎりづくり～



雲見海岸でお散歩



人力車の出張サービス

### I 建設概要

- ・建設工期：平成 13 年 1 月 10 日～平成 14 年 2 月 28 日
- ・敷地面積：6,743.87 m<sup>2</sup>
- ・建物構造：鉄筋コンクリート造 3 階建
- ・建築面積：4,183.32 m<sup>2</sup>

### II 事業内容

- ・介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム松崎十字の園 定員 50 名
- ・短期入所生活介護事業 松崎十字の園 定員 9 名
- ・通所介護事業 デイサービスセンター松崎十字の園 定員 15 名
- ・訪問介護事業 ヘルパーステーション松崎十字の園
- ・居宅介護支援事業所 松崎十字の園居宅介護支援事業所
- ・身体障害者療護施設 オリブ 定員 20 名
- ・身障ショートステイ事業 オリブ 定員 2 名
- ・小規模身障デイサービス デイサービスセンター空とぶうさぎ 定員 5 名

### III 施設整備事業収支決算

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
区分	金額	区分	金額
国庫補助金	680,162	施設整備費	1,089,900
県単補助金	6,193	建築工事費	1,050,000
市町村補助金	113,361	設計監理費	39,900
設置者負担金	362,369	設備整備費	72,185
一般財源	62,369	特養・ショート設備	32,575
事業団借入金	280,000	デイサービス設備	14,434
県社協借入金	20,000	身障療護設備	11,900
		身障デイ設備	13,276
合計	1,162,085	合計	1,162,085



# 各施設のトピック



## すごい先生がまた来る

浜松十字の園 清水 実

一昨年、浜松十字の園を「下の上」と評価したあの先生が今年またやって来る。龍谷大学助教久田則夫氏その人だ。朗らかで、明るい性格、そして大きな声は大きな変革を当施設にもたらした。ニコリ微笑み目がキラッと輝いた瞬間、思い上がっていた職員は奈落の底に突き落とされた。しかし、底より這い上がる方法は決して教えてくれないが、這い上がる勇気を与えてくれた。その勇気でユニホームを脱ぐことが出来た。意識改革がユニットケアを前進させた。サービス基準指針を作らせた。60人を超える職員が先進的な施設の見学に、講演へと自分の時間とお金で出かけた。だが、賛辞を期待して再来をお願いした訳ではない、そんな甘っちょろい人ではない、妥協は許してくれない。おそらく提出した課題、計画等はケチョンケチョンにけなされ再度奈落の底へ。そうなると知りつつ、それでも先生を招く、懲りない当施設の職員は底からの這い上がる術を着実に身に付けつつある。

7月12日(金) 静岡グランシップ  
久田先生講演会開催予定です。

## 「送迎支援車」頂きました

伊豆高原十字の園 中島梨枝子

このたび、日本財団の2001年度福祉車両助成事業による助成金の交付を受け、送迎支援車(日産セレナ8人乗り)をいただき、デイサービスの送迎に有効に使わせていただ



送迎支援車(日産セレナ8人乗り)

いております。日本財団を始め、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。(事業費総額2,670,000円 助成金額1,869,000円)

スライドステップが付いているので乗り降りがラクチン。と書きましたが、実は私スライドステップってなに?セレナってどの車?というくらい車のことは知らないのです。でも、デイにいらした方が嬉しそうにドライブ気分ですに乗って、手を振っているのをよく見かけます。次からは、思いっきり手を振り返して言うておきます、「また来てね。新しいセレナで」と。

## 伊豆高原の厨房が生まれ変わりました

伊豆高原十字の園 里見敏和

社会福祉法人静岡県共同募金会を通じて財団法人・中央競馬馬主社会福祉財団殿から平成13年度補助金を受けて進められていた、伊豆高原の厨房改修工事が終わりました。おかげで、以前のシミやヒビ入った厨房の壁や天井、傾いた調理台が、明るくきれいな環境に甦りました。伊豆高原に来られた折には、施設内のセルフランチや配食サービスなど、工夫しながら活躍する職員と厨房の姿を是非とも覗いて下さい。

## さくらんぼ美人

アドナイ館 三輪真理子

6月14日は入居者日帰り旅行で山梨県まで「さくらんぼ狩り」に出掛けました。今までは入居者の中から世話人を出し、わりと自主的に行っていたのですが、身の回りのお手伝いが必要な方もたくさん参加していただける様にと今年からアドナイ館行事として行う事になりました。

職員が6名参加し、貸切の大型バスはリフト付きで、車イスが2台乗れます。

少しずつではありますが世の中のバリアフリーも進歩していますね。

ビタミンCがたっぷりのさくらんぼをおなか一杯食べて、帰る頃には皆さくらんぼ美人。詳細は「アドナイ刊」で!

## 温泉の御寄付ありがとうございます

松崎十字の園 山本隆弘

松崎といえばやはり温泉でしょうと昨年12月のぶどうの木12号に温泉の権利獲得に向けて寄付のお願いをいたしました。そうしましたら多くの方々からたくさんのご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。感謝しております。温泉使用の権利獲得につきましては、一般取得価格より安く購入することが出来ました。

松崎十字の園の入浴設備は、ヒノキの香りがする一人浴槽をデイサービスや施設に用意いたしました。そのうえ3階屋上の月見テラスにも浴槽をおき温泉の蛇口を付け露天風呂の味わいも得られるようにしました。西伊豆、奥伊豆方面に遊びに来られる事がありましたら施設に立ち寄り化粧の湯、若返りの湯といわれている松崎温泉を味わってください。お待ちしております。

## 6時夕食はじまる、 喫茶「ぶどうの木」オープン

御殿場十字の園 藤永敬士

御殿場十字の園では、ご利用者が、それまで過ごしてきた生活と変わりのないような居住環境をつくりだすように、努力しています。

この6月1日からは、夕食の時間を5時から6時に変更しました。ご利用者にはまだ、とまどいもありますが、夏の日の永いときでもあり、おおむね好評です。これにともなって、介護・調理・看護職員の勤務体制も変わりました。また、延びた夕食までの時間は、ご利用者との対話の充実にあてるつもりです。また、栄養制限のあるご利用者の食事の内容も、より細かく対応する体制になりました。

喫茶は、同じ場所で過ごすことの多いご利用者の生活に、少しでも変化をもたせるため、「街」の雰囲気施設内につくりたいとの願いからできたものです。客席20席、営業時間は原則火木曜の1時から3時半まで。コーヒー200円、あんみつ200円をはじめメニューも豊富です。アドナイ館の入居者、身障デイの利用者も利用され、園の玄関脇の喫茶店は、経験豊富なママさんのもとの、明るい声に包まれ、にぎわいの中心になっています。



## 平成 13 年度理事会が審議した議案について

法人には、9名の理事と2名の監事、19名の評議員がおり、重要な事業運営について審議をしています。昨年は、6回の理事会と3回の評議員会が開催され、下記の事項について審議をいたしました。

### 第 208 回理事会および評議員会 (2001 年 5 月 28 日)

- 1 監事監査報告について
- 2 2000 年度事業報告書 (案) 及び決算書 (案) について
- 3 定款の一部訂正について
- 4 介護保険制度における苦情処理の第三者委員会設置について
- 5 (仮)伊豆松崎十字の園施設整備事業の設計変更について
- 6 御殿場アドナイ館施設整備事業の決算報告について
- 7 大口寄付金について

### 第 209 回理事会 (2001 年 6 月 26 日)

- 1 伊豆高原十字の園厨房改修工事の実施について
- 2 伊豆高原十字の園厨房改修工事に伴う助成金申請について
- 3 (仮)伊豆松崎十字の園平成 13 年度事業補助金申請について

### 第 210 回理事会 (2001 年 11 月 7 日)

- 1 伊豆高原十字の園 土地購入について
- 2 伊豆高原十字の園 厨房改修工事について
- 3 アドナイ館 水漏れ補修工事の実施について
- 4 (仮)伊豆松崎十字の園設備整備事業の実施について

### 第 211 回理事会および評議員会 (2001 年 11 月 27 日)

- 1 2001 年度補正予算 (案) について
- 2 (仮)伊豆松崎十字の園設備整備事業の業者選定について
- 3 (仮)伊豆松崎十字の園の正式名称選定について
- 4 松崎事業追加に伴う定款変更について
- 5 沼津市施設整備の要請について
- 6 給与規程の一部改定について
- 7 大口寄付金について

### 第 212 回理事会 (2002 年 1 月 15 日)

- 1 「松崎十字の園」施設長人事について
- 2 大口寄付金について

### 第 213 回理事会および評議員会 (2002 年 3 月 26 日)

- 1 2001 年度第二次補正予算 (案) について
- 2 2002 年度事業計画書 (案) 及び当初予算 (案) について
- 3 給与規程の改訂について
- 4 就業規則の一部改訂について
- 5 評議員の選任について
- 6 大口寄付金について

## ◇ 施設運営会議の開催について ◇

- 目 標** 各施設では、法人運営と諸施設の運営を相互に理解し、お互いの課題に対して連携して推進するため、昨年度は6回の施設運営会議を開催致しました。
- 内 容** 事業報告と決算準備、松崎十字の園の取組み、法人機関紙の発行、諸規程の見直し及び検討、十字の園大会の実施要領確認、職員採用計画、県指導監査及び監事監査の課題の検討、補正予算・事業計画・当初予算の検討、第三者委員会の運営の検討等を審議しました。
- 開催日** 第1回 4月17日、第2回 6月19日、  
第3回 9月13日、第4回 10月23日、  
第5回 12月11日、第6回 2月12日

## < 新 就 職 >

♪ どうぞよろしくお願ひします ♪

平成 14 年 4 月 1 日付

### ☆浜松十字の園

- < 介護職 > — 和久田敦子、豊田真由美、  
竹内 理恵、高木 慎子、古橋美恵子  
< 事務職 > — 栗田 望

### ☆御殿場十字の園

- < 介護職 > — 伊藤 幸恵、杉崎 由宗、  
瀬戸美貴枝、武藤 繁生、柳 友子、  
岩瀬 恵子、岩田 朋宏、岩田かんな  
< 看護職 > — 佐野真理子、栗谷川真澄  
< 栄養士 > — 高杉 晶子

### ☆伊豆高原十字の園

- < 相談員 > — 小川 秀幸  
< 介護職 > — 林 美樹子、永田 泉、  
松崎 和博、杉本佳奈子、畝 永子、  
里見 恩恵、山下奈緒美、岡 信江、  
杉山栄美子、川尻 寿

### ☆松崎十字の園

- < 相談職 > — 土屋 正子  
< 支援専門職 > — 山本美恵子  
< 介護職 > — 松本 貴之、小長谷明美、  
菊地 保美、佐野 鈴子、古谷 知也、  
藤井 昭一、土屋裕三子、関 弘美、  
平川 誠美、小山田 恵、鈴木 良、  
高田 久、鈴木 清彦、佐々木和則、  
関 比呂子、藤池久美子  
< 看護職 > — 島倉とよみ  
< 事務職 > — 坂倉 和夫、長島 潤

皆様の 暖かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県引佐郡細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平 井 章

銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

## < あ と が き >

- ・新しい編集委員のもと、紙面を少し変えてみましたがいかがでしょうか？
- ・法人本部のある十字の園の門の脇に定礎の石が据えられております。  
周囲に植えてあるサツキの背丈が伸びてしまい、石が見えなくなっていましたので、慣れぬ手つきで丈を短かく刈り込みました。  
表面には、「夕暮れになっても光がある」旧約ゼカリヤ書裏面には、「定礎の祈り、主イエス・キリストよ、あなたの御命令でこの家を建てたのですから、あなたがこの家の基礎となって下さい。」1960.5.5 ディアコニア・ハニ・ウルフの文字があらわれました。

編集委員